

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立川崎総合科学高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○真理を探究し、高邁な人格の育成に努める</li> <li>○教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める</li> <li>○専門（工業・理数）の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める</li> <li>○心身を鍛錬し、明朗にして良識ある社会人の育成に努める</li> </ul>
校訓	『誠実』『勤勉』『強健』

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国語	生徒が希望する進路実現のために意欲と学力の伸張を図るための指導の工夫と充実、これからの国語教育への理解を深める。 1 基礎学力の育成。全校的な意識の伸張と高校生として必要とされる語彙力の育成を目指す。 2 言語活動の充実 進路実現に向けて、自分の言葉で書く・話すことができるようになるための、きめ細やかな指導を行なう。
地歴・公民	生徒が現代社会における様々な事象や課題に対し高い関心をもつよう指導するとともに、それらへの考察に必要な地理的、歴史的基礎知識、及び、政治的、経済的、社会学的基礎知識を修得するべく指導する。
数学	数学における概念や原理・法則についての理解を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学のよさが認識できるようになるとともに、それらを的確に活用する態度を身に付けさせる。
理科	生徒に考えさせるような授業を目指し、課題解決に向け主体的に学ぶ姿勢を養う。
保健体育	新学習指導要領の内容に則し、生涯にわたって健やかな体を培うための身体能力と知識を定着させ、個人に応じた豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育成するとともに、個人生活及び社会生活における健康・安全に関する内容を総合的に理解できるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。
音楽	幅広い芸術活動を通して豊かな感性を育み、創造的な表現力と鑑賞能力を伸ばす。また、芸術の諸能力を高めるとともに、芸術文化についての理解を深め、将来にわたり芸術を愛好する心情を育てる。 2・3年の学校設定科目においては、生徒の興味関心に応じ発展的な指導ができるよう留意する。芸術関係の進路を希望している生徒や、卒業後の進路で音楽や美術の力を付けておく必要のある生徒については、さらに実力を伸ばすことを目標において指導していく。校内外の発表の場に積極的に参加し、より水準の高いものを目指していく。
外国語	「聞く・読む・話す・書く」の4技能を意識した総合的な指導により、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力を養う。

		基礎学力の定着を図るだけでなく、自発的に学習する態度を育成する指導法を工夫する。 生徒一人一人の高度で発展的な課題にも対応できるように、英語力の向上に努める。
家庭		家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、保育、消費等に関わる知識や技術を習得するとともに、それらを活用して課題を解決するために物事を理論的に考える力と実践に向けて自分の持っている力を工夫できる力を身に付ける。生活上の知識や技術の習得を生涯の生活設計やキャリアプランニングなどと関連付けて取り扱うことにより、生徒自身が現在及び将来の生活を自立的に営み、男女が共に協力して家庭を築いていくという実践的な態度を育てる。
情報		社会との関わりの中で、情報や情報技術に関する事柄を理解し、社会のモラルに反することなく実践することを通じて、豊かな情報社会の創造を実現できる学力を身に付けさせる。
専門	工業 情報工学	社会における情報化の進化に即応し、その幅広い分野に対応できる応用力と創造力のある柔軟性を備えた情報技術者の育成を目指し、コンピュータに関連する知識と技術を習得させるとともに、プログラム開発、システム開発・コンピュータ制御などにおいて実際に活用できる能力と態度を育てる。社会人としての豊かな人間性の育成を目指し、集団に溶け込み、明朗で責任感が強く、技術の多様化に順応できる研究心と勤労意欲の旺盛な人物の育成に努める。
専門	工業 総合電気	電気・電子・情報に関する基礎的な知識と技術を目指し、生徒の興味関心に応じて、発電・送電などのエネルギー関係やコンピュータ・電子機器などのエレクトロニクス関係を学習し、時代の先端をゆく専門的な知識と技術を習得させる。社会で活躍できる明朗で責任感のある人物の育成に努める。
専門	工業 電子機械	メカトロニクス技術の進歩に適応できる電子機械技術の修得を目指している。ロボット化やメカトロニクス化された新しい技術に適応できる人物を育成するために、広い範囲に応用できる基礎的知識を習得させるとともに、各種の実験や実習を通して専門的知識や技術を体得させる。社会で活躍できる創造性豊かな人物の育成に努める。
専門	工業 建設工学	建築の基礎教育や共生を重視した人間教育を目指す。2年次より専門教科を選択する事により、実験設備・測量機器やCADソフトを利用して、土木構造物や住空間を視覚的に学習する。また、現場見学などに積極的に参加し、実践的な専門知識や技術を体得する。
専門	工業 デザイン	デザインの基礎的な知識と造形的な技術を学び、創造的な発想力、構想力および実践的な態度の育成を目指している。基礎的な造形感覚の養成、様々なデザイン表現の技術の習得、デザイン思考による問題解決能力やプレゼンテーション能力の育成など、創造性豊かで社会貢献できる人材の育成に努める。
専門	理数 科学	理科・数学における基本的な概念・原理・法則などについて、事象を探究する過程を通して系統的な理解を深める。併せて一般的な教養を高め、理系難関大学への進学を目指している。指導方針として次の4つを置いている。 1 3年間を計画的に活用し、真の実力を養成する。 2 進学に必要な情報を的確に提供する。 3 自己の将来像を明確化し、進学目標の具体化を促進する。 4 豊かな人間関係から、目標達成への推進力を育てる。